

# 大使の横顔

vol. 2

市のPRを行っている奥州大使の皆さんを紹介するこのコーナー。2回目は京都清水寺の貫主・森清範さんです。



森清範さん

奥州大使

もり・せいはん  
昭和15年京都市生まれ  
清水寺貫主(住職)  
昭和30年に得度・入寺。  
八幡市円福寺で雲水修行の後、清水寺に戻り、法務部長などを経て63年4月に貫主に就任した。平成7年から行われている「今年の漢字」の揮毫でも知られる

と優しいまなざしを向けます。毎年、被災地に向向いては多くの人々と言葉を交わしているという森貫主。「私は縁という絆で結ばれ、未来の希望に向かっていきます」と

## 古代の英雄が縁

「1200年あまり昔の坂上田村麻呂公と阿弔流為・母禮との縁が、今日に続いているんです」。遠く離れた京都の清水寺と本市にどのような縁があるのかを尋ねると、森清範貫主はこう教えてくれました。

清水寺は、阿弔流為・母禮と戦った坂上田村麻呂が創建したとされ、観音信仰に厚い田村麻呂は、降伏した阿弔流為・母禮の助命・登用を嘆願しかし、これは許されず2人は非業の最期を遂げます。「田村麻呂公が2人の御霊を一心に供養されたことが、多くの人を清水にお参りしよ

うという気持ちにさせたのでしよう」と森貫主は語ります。平成6年、有志によって清水寺境内に阿弔流為・母禮の碑が建立されています。

## 絆という希望を胸に

20年7月、岩手・宮城内陸地震の被害に遭った本市に、森貫主が「達磨八起」と揮毫した激励の書が送られました。また、東日本大震災の後には森貫主の発案で、陸前高田の流木松を1人ひとりに削り「ひとノミ・ひと削り運動」が展開されました。

運動に参加した被災地の小学生が「スーッとした」と話していたことに触れ、森貫主は「ノミを打つことで、暗い思いが仏の中に消えていったんでしょう。願う、祈るという喜びになって自分に返ってくるんです」と説きます。

— こんなことも聞いてみた！ —

Q. 奥州市でおいしかったものは？

山菜が…

山菜料理は、京都あたりでは味わえない自然の味で、大変おいしいなと思いました。東北の皆さんの“情”を伝えるような、くせのないあっさりとした自然の味を感じます。

Q. 「今年の漢字」を知らされるのはいつ？

当日の昼です。

それまでは、こんな字かな？と想像しますが、書くときは余計なことは考えず一気に書き上げます。来年はより良い字になって頑張っていきたいなという思いで書いています。



※広報掲載に合わせて奥州大使の皆さんの動画を公開予定。みんなで「奥州市」をチャンネル登録しよう！

奥州市 ユーチューブ 検索



ボランティアの皆さんが物資を仕分け梱包

## 広がる支援の輪

地震で発生した津波は、沿岸地域に多くの被害をもたら

日本観測史上最大のマグニチュード9.0  
23年3月11日午後2時46分、三陸沖を震源にマグニチュード9.0、最大震度7の「東北地方太平洋沖地震」が発生。津波や余震などを含め「東日

本大震災」と呼ばれる大規模災害を引き起こしました。本市では前沢・胆沢・衣川区で震度6弱、水沢・江刺区で5強を観測。21人がけがを負ったほか、建物2572棟、市道419路線が被害を受けました。また、大規模な停電で交通機関は混乱し、製油所の被災により物流が一時停止。食料やガソリンを求めてスーパーや小売店、ガソリンスタンドに長蛇の列ができました。

し、市は被災地を支援するため支援物資を募集。市民の皆さんの善意によって、毛布や日用品、食料などが大船渡市、陸前高田市に送られました。支援は物資だけでなく、入浴や買い物などの支援など多岐にわたりました。

年月日	合併6年目の主な出来事
23. 2. 22	胆江地区最終処分場「エコパークおおぶくろ」竣工式が挙される
2. 26 ~ 3. 3	10周年を迎えたくくり雛まつりが水沢区で開催される
3. 11	東北地方太平洋沖地震発生
4. 1	市子育て総合支援センター「こっころ」がオープン
5. 26	まごころ病院が自治体立優良病院として総務大臣表彰を受賞
6. 26	平泉の世界遺産登録が決定
7. 1	まえさわ牛横丁が初開催される
7. 31	胆沢文化創造センター開館20周年記念事業「ぶんそう夏祭り」が行われる
8. 3 ~ 6	岩谷堂高校の艾幸太さんがインターハイウエイトリフティング競技で優勝
9. 11	後藤寿庵福原就封400年記念式典および記念講演を実施
10. 1	市まちなか交流館がオープン
10. 1 ~ 11	艾幸太さんが「おいでませ！山口国体」ウエイトリフティング競技で優勝
10. 6 ~ 7	胆沢区を会場に「第10回全国散居サミット in 奥州」が開催される
11. 5	南都田小学校創立100周年記念式典を挙る
12. 4	奥州宇宙遊学館が来館者5万人達成
12. 23	旧まなびい館を改装した前沢図書館が開館
24. 1. 23	焼石クアパークひめかゆ20周年記念式典が挙る



被害や支援の状況を掲載した2011年4月号。4月7日の最大余震の影響でお知らせ版と合わせて発行した

## 10年の節目を迎える市民に聞く



金野 克枝さん (70)

合併は、初代理事長から声を掛けていただき、介護事業や世代間交流などを目的とした当法人の立ち上げに携わっていたときのこと。住所の変更などで多少戸惑いましたが、いろいろな地域の情報を得やすくなったと感じます。研修会などでは広い奥州市全域から人が集まるので、さまざまな地域性とその地域ならではの活動を知ることができ

き、参考になっていきます。これまでを振り返ると、地域の皆さんとの交流の場にもなっている「はいらん家祭り」の立ち上げや、復興支援の気持ちを含めて沿岸を回った法人の会員と職員との旅行などが印象に残っています。世の中も制度も移り変わりますが、市民が元気で安心して暮らせるまちであってほしいですね。

### profile

この・かつえ◎昭和20年、水沢区宇大畑小路生まれ。設立10年目を迎える同区のNPO法人はいらん家の理事長であり、デイサービスの生活相談員も務める。アスパ詩っこの会で趣味のコーラスを楽しむ